令和6年9月3日(火) 北九州市発達障害者支援地域協議会

報告③

強度行動障害支援について

強度行動障害支援について

1 令和6年度協議会実施計画

- 強度行動障害支援について
 - ・具体的な施策に向けた協議の場を引き続き障害者自立支援協議会に位置づけ、検討する(内容:アウトリーチ支援体制の具体的案)。検討経過等は、当協議会へ報告する。
 - ・障害福祉サービス事業所の強度行動障害支援に関する体制等の実態把握を行う。

2 取組み状況

- (1)学識者、障害福祉サービス事業所、発達障害者支援センターつばさ、障害者基幹相談 支援センター、市等で事例検討会(意見交換会)を実施(昨年度と同様に、障害者自立支 援協議会に位置づけ)。
- (2)アウトリーチ支援体制の構築については、今年度、モデルケースで試行的に実施し、効果的な体制や課題等を把握していく予定。
- (3)強度行動障害のある方への支援を行っている障害福祉サービス事業所等へアンケート調査を実施し、支援体制や研修に関することなどの実態や意見を把握する予定。
 - 確認する内容(予定)
 - ・ 強度行動障害のある人の受入れ状況や支援体制に関すること
 - ・強度行動障害養成研修の受講や修了者の状況に関すること
 - ・ 市独自の研修の実施に関すること
 - ・ 集中的支援(集中的支援加算を含む)に関すること など
 - 〇 実施方法
 - ・ 令和6年9月中に対象事業所へアンケートを送付し、返送していただく。